



議会だより

おやま町議会

No. 128

発行：静岡県駿東郡小山町議会



9月
定例会

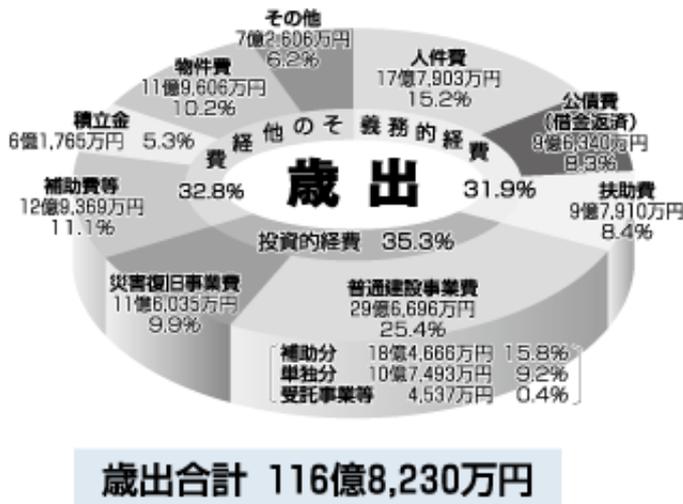
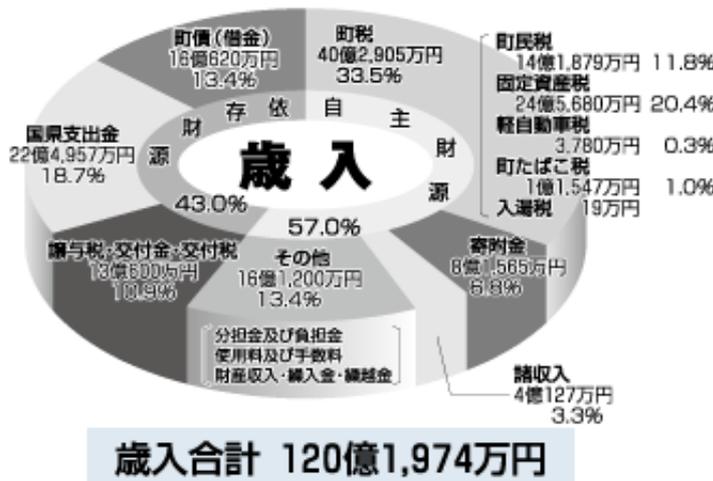
- 22年度決算は、健全財政を維持 2
- 決算審査意見書の報告 3
- 固定資産評価審査委員に米山恒久さんを選任 4
- 常任委員会の報告 5
- 町政のここが聞きたい 一般質問に8人 6
- 私の望み 14

9月定例会

平成22年度決算は健全財政を維持

実質収支額 8千678万8千円の黒字

9月定例会が9月2日から9月21日まで、20日間の会期で開かれました。今定例会には、当局から平成22年度決算の認定や平成23年度補正予算など20議案と追加議案1件の議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり認定されました。



特別会計

会計別	歳入	歳出
国民健康保険	19億8,983万円	17億1,691万円
育英奨学資金	393万円	375万円
老人保健	1,673万円	1,673万円
後期高齢者医療	1億8,685万円	1億8,665万円
下水道事業	1億8,420万円	1億8,157万円
土地取得	1,859万円	1,859万円
介護保険	13億1,349万円	12億7,167万円

※実質収支額は、一般会計決算額の歳入から歳出を差し引いた残額3億3千744万3千円から、翌年度の繰越事業に充てる財源2億5千65万5千円を差し引いた金額で、平成23年度予算への純繰越金のことをいいます。

水道事業会計

内容	収入	支出
収益的収支	2億1,715万円	1億9,777万円
資本的収支	9,028万円	2億4,836万円

多様な町民のニーズに応えるよう — 決算審査意見書の報告 —

平成22年度一般会計および特別会計の歳入歳出決算などの審査意見書の報告が監査委員からありました。主な審査意見書の内容は次のとおりです。

1 国へ要望

審査に付された一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算書及び付属書類は、いずれも法令に準拠して作成されており、関係書類及び証拠書類と照合した結果、決算に対する係数は正確であると確認した。予算の執行については、議決の趣旨に沿い、おおむね適正に執行されており、翌年度へ繰越された事業を除き、所期の成果を得たものと認められる。

決算の概要及び意見は以下に述べるとおりであるが、例月出納検査や定期監査及び本審査において指摘あるいは指導した事項につ

いては、今後十分留意し、検討または改善の措置を講ずるよう要望する。

2 審査の意見

長引く景気の低迷による企業の経常利益や、個人所得の減少により、本町の歳入の根幹である町税収入は減少傾向が懸念され、町民の公平感が収入率の向上にも影響することが、全庁的な収納体制の整備の構築、人材づくりの取り組み並びに納付しやすい環境など、一層の創意工夫に努め、翌年度に繰り越さないことが重要である。

今後の財政運営に当たっては、限られた財源を有効に活用するとともに、投資効果を最大限に確保し、多様な町民のニーズに応えるよう努められたい。

小山町が普通交付税の交付団体へ

財政力の推移

年 度	財政力指数 (単年度)	経 常 収 支 比 率	実質公債費 比 率
22	0.947	79.8	14.5
21	1.018	83.3	14.6
20	1.084	81.5	14.4
19	1.146	78.6	14.2
21年度 県内町平均	0.799	73.1	11.8

○財政力指数

財政力を判断する指標となるもので、数値が「1」以上なら財源に余裕があるとされ、普通交付税が交付されない。

○経常収支比率

人件費などの経常経費が一般財源をどの程度占めるかで財政の弾力性を示す。70～80%程度の範囲なら妥当とされている。

○実質公債費比率

標準財政規模に対する実質的な公債費（町の借金返済）相当額の割合。3年間の平均値を使用する。比率が18%以上は、県の許可が必要、25%以上は地方債の発行に対し制限される。

決算質疑 ヒックアップ

町税の徴収率が昨年より減少しているが

Q 町税納付は町民の義務でもありますが、徴収率が、昨年より減少している。徴収率向上についての取り組みをどのように考えているか。

A 徴収率の向上のため、その根幹をなす滞納整理事務について、納税の質問、検査を行う場合の滞納者との面談や交渉を的確に実施し、地方税法、国税徴収法等の規定の通り、差し押さえ、換価等の滞納処分を適正かつ円滑な執行の確保を目指しています。

町債（借金）が増加しているが

Q 町債による歳入が平成22年度は16億円と、前年度から大幅に、10億円増えている理由は。

A 平成22年度におきましては、須走道の駅地域振興施設の継続事業やアクセス道路の建設などで借入れをした。須走まちづくり交付金

事業債が2億8千980万円、小山中学校改築事業と北郷中学校体育館改築工事に借入れをした事業債が、それぞれ3億803万円、1億4千800万円の増となっております。

その他に台風9号災害に伴う災害復旧債が2億2千940万円、財源不足に対応するための臨時財政対策債が1億2千311万円の増となっているのが、主な理由です。

不妊治療費助成事業についての具体的な内容は

Q 不妊治療費助成事業について、助成人数が18人、助成金額が12万3千500円とあります。この助成金額の内訳を具体的に教えてください。

A 18人のうち県の助成を受けている方は8人です。助成実績では、助成を受けた18人のうち、支給限度額10万円の助成を受けた方が10人、支給限度額10万円未満の助成を受けた方が8人となっております。

平成22年度の助成申請者のうち、母子手帳の交付を受けた方は6人います。

条例の改正

小山町行財政改革

審議会を設置

小山町行財政改革審議会
条例の制定
審議会委員の定員を16人

以内とし、町民と学識経験者から組織を構成するもの

防衛施設周辺の生活環境の整備を

小山町東富士演習場関連
特定事業基金条例の制定

特定防衛施設周辺整備準備交付金を、特定事業（ソフト事業）にも充当可能

「体育指導委員」から「スポーツ推進委員」へ

スポーツ基本法が6月24日に交付されたことに伴い、小山町教育委員会の委員等に対する報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正するもの

過料を「3万円以下」から「10万円以下」に

現下の厳しい経済状況及

び雇用情勢に対応して、税制の整備を図るための地方税法等の一部改正する法律が6月30日に交付されたことに伴い、小山町税条例等の一部を改正するもの

※4議案すべて全員賛成で可決されました。

財産の取得

消防団第二分団のポンプ自動車1台

2千100万円

平成8年12月に購入した小山町第二分団の消防ポンプ自動車を更新するもの
岡山ポンプ製作所が落札

小山中学校の教育備品

2千131万5千円

小山中学校に教材収納庫等57品目210点の備品を購入
長島文宝堂が落札

※2議案すべて全員賛成で可決されました。

固定資産評価審査委員に米山恒久さんを選任

固定資産評価審査委員の任期満了に伴い、米山恒久さん（須走）を新しく任命することに同意可決しました。

任期は、平成23年10月1日から平成27年9月30日までです。

また、前任者の外川幾一さんは、9月30日で退任しました。長い間ご苦労さまでした。

人権擁護委員候補者に相野谷光子さんと湯山久さんを推薦

人権擁護委員の任期満了に伴い、相野谷光子さん（須走地区）、湯山久さん（明倫地区）を委員候補者として推薦することに同意可決しました。

吉川美枝子さん（須走地区）、湯山勝美さん（明倫地区）は12月31日付で退任されます。長い間ご苦労さまでした。

補正予算を可決

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ4億2千927万2千円を追加し、予算の総額を91億1千328万円とするものです。

全員賛成で可決されました。

【主な内容は】

普通交付税の交付額と地方特例交付金の交付額が決定

普通交付税の交付額と地方特例交付金の交付額が決定したことにより、地方特例交付金を420万円減額し、地方交付税を4千249万8千円増額。

特定防衛施設周辺整備調整交付金の増額

今年度6月に実施した沖繩県道10号線越え実弾射撃訓練に伴うSACO分の交付額の内示により、特定防衛施設周辺整備調整交付金を1億2千990万円増額。

道路維持補修事業及び原材料費の増額

区からの要望事項に対応するための道路維持補修事業及び原材料費を2千680万円増額。

北郷小学校北校舎及び給食棟の耐震補強計画のため増額

小学校費の学校管理費を1千211万円増額。

北郷小学校北校舎及び給食棟の耐震補強計画策定と実施設計の委託料が主なものの。

農地44件と農業用施設18件18件の災害復旧費を増額

昨年の台風9号により、湯船川、野沢川、須川沿いの農地44件と農業用施設18件が被害を受けました。復旧に係る経費として、農業用施設災害復旧費を5千750万円増額。

町道3路線と1河川の災害復旧費を増額

今年7月の台風6号により、町道1448号線（柳島）、町道3661号線（大

御神）、町道3819号線（下小林）の3路線と、精進川（須走）の1河川が被害を受けました。

復旧に係る経費として、公共土木施設災害復旧費を6千365万2千円増額しました。

12月定例会のお知らせ

12月定例会は次のよう
に開催する予定です。

◆11月25日 町長から12月議会への提出議案の説明、委員会付託

◆12月1日 開会

◆12月6日 一般質問

◆12月8日 総務建設委員会

◆12月9日 文教厚生委員会

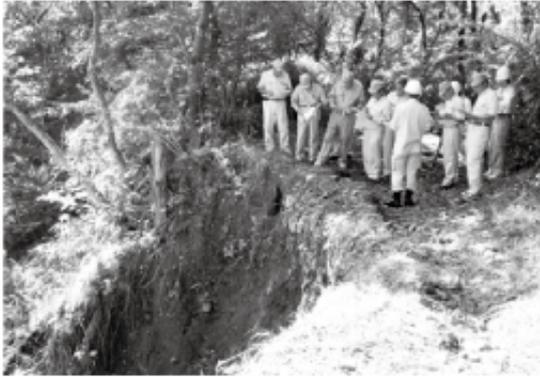
◆12月15日 常任委員会
委員長の審査報告、質疑、採決

※変更になる場合があります。

総務建設委員会の報告

小山町行財政改革審議会の 委員会の構成ほか審議内容

委員長 米山千晴



▲被災した柳島の林道を視察

9月定例会における、総務建設委員会に付託された審議内容は、

Q 小山町行財政改革審議会条例の制定では、委員会の構成は公募か推薦か。

A 委員会の構成で町民は16人で、推薦のほか公募2人を考えている。

Q 平成23年度小山町水道事業会計補正予算で、滝沢の簡易水道組合の統合

で、話し合いはついでいるか。

A 平成23年1月28日付けで、組合から町への移管の陳情を受けて計画を進める。

Q 平成22年度一般会計歳入歳出決算で、町税からゴルフ利用税など年々減少傾向にあるが、減少に対して予算作成にあたり、何か手立てをしたか。また23年度予算に反映させたか。

A 経費節減や、継続事業の圧縮を行い、今後は行政評価制度の取り入れや、効率的な行政運営をめざす。

以上のような審議が行われました。

文教厚生委員会の報告

3議案・決算6件の審議

委員長 桜井光一



▲きたごう保育園の園舎を視察

文教厚生委員会は9月14日に開催され、3議案と決算6件の審議を行いました。

※議案第43号平成23年度小山町一般会計補正予算第4号。

※議案第44号平成23年度小山町国民健康保険特別会計補正予算第1号。

※議案第46号平成23年度小山町介護保険特別会計補正予算第1号。

※認定第1号平成22年度小山町一般会計。

※認定第2号平成22年度小山町国民健康保険特別会計。

2 決算は質疑、答弁のうち、採決の結果、賛成多数で可決しました。

※認定第3号平成22年度小山町青英奨学資金特別会計。

※認定第4号平成22年度小山町老人保健特別会計。

※認定第5号平成22年度小山町後期高齢者医療特別会計。

※認定第8号平成22年度小山町介護保険特別会計。

4 決算は特に質疑もなく採決の結果、全員賛成で可決しました。

● 一般質問 ●

町政のここが聞きたい



▲きたこう保育園【左】と北郷幼稚園【右】を視察する文教厚生委員



高畑博行

Q 幼保二元化（一体化）・きたこう学園の

制度設計をどう考えているか

A 議会、保護者及び地域の方の

意見を伺いながら対応します

Q 「核兵器廃絶平和都市宣言」について、未だに平和宣言をしていない市町は県下で8自治体になってしまった。来年度の町制100周年を節目に、平和都市宣言をし、世界の恒久平和を希求する町の意思表明をしたらどうか。

A 町長 核兵器廃絶、絶対という世界的な取り組みの中で、住民のために世界恒久平和の実現に寄与することは、町だけでなく、国際交流都市としての見地からも重要な課題です。

平和都市宣言を行った静岡県下の各自治体においても、14の自治体が議会提案により宣言を議決してきた経緯もあります。

議会でもご協議いただき、町としても検討していく所存です。

Q 「幼保二元化（一体化）・きたこう学園について」

①町は小山町幼保一元化検討会の計画案に沿って「きたこう学園」の施設や制度設計を考えているのか。それとも、もっと踏み込んだ形で幼保一元化を進めようと考えているのか。
②政府が進めようとしている「子ども・子育て新システム」には多くの問題点がある。「新システム」に対して、町はどのような認識をもっているのか。

A 教育長 ①現段階では、

計画案を基本にして、きたこう保育園舎の耐震化を進めていますが、ハード面、ソフト面において検討課題もありますので、議会、保護者及び地域の方の意見を伺いながら対応していきます。

②「新システム」については、財源の確保の問題や国の管轄部署が決まっていないなど今後検討する課題が多くあり、「新システム」の目指す姿が見えてきていません。
今後、十分な議論が尽くされ、子育てをしっかりと支援できる磐石なシステムが創設されることを期待しています。

● 一般質問 ●

一般質問に8人の議員が町の方針をただしました



▲ 福祉避難所として期待される（寿康会）老人ホーム「平成の杜」



池谷 洋子

Q 災害弱者に配慮した「福祉避難所」の確保を

A 今後、各地区の公民館、集会所も「福祉避難所」へ

Q 「被災者支援システム」は災害発生時に町が行う復旧業務や被災者に必要な支援をスムーズに実施することを目的としています。

住民基本台帳を基に支援に必要な情報を一元管理する「被災者台帳」を作成。災害発生後に全壊や半壊など被災状況さえ入力すれば、り災証明書の発行や義援金・支援金の交付、仮設住宅の入居などの管理がスムーズに行えます。同システムの導入について伺います。

Q 「被災者支援システム」を「被災者支援システム」を導入するに当たり、使い勝手、費用対効果、職員または委託によるシステム稼働等を含め、現在確認をしているところですか。今後その結果により導入についての検討をして、判断したいと考えています。

Q 「福祉避難所」は高齢者や障がい者など災害時、要援護者が安心して避難できる役割を持ち施設の安全性が確保されバリアフリー化や介助員などを配置した施設です。そこで身近で安全に避難できる各地区の公民館・集会所などを「福祉避難所」に指定

A 町長 全国各地で東日本大震災後、606の自治体が導入済みまたは導入準備をし

してはと考えますが町の見解を伺います。

A 町長 現在町の福祉避難所は、バリアフリー化された専門スタッフを配置した町内の福祉施設や、須走災害対策センター等の4施設と協定を結び、福祉避難所としています。新たに開設されたライサービスセンターとも、協定締結について進めています。今後各地区の公民館、集会所などを「福祉避難所」にすることについては、町の防災計画見直しの中で、各地区と検討をしていきたいと考えています。

● 一般質問 ●



▲ 国の登録文化財に指定されている豊門会館と西洋館



湯山 宏一

Q

豊門会館・西洋館の

保存に対する取り組み状況は

A

建物の保全は重要！

専門家に意見を伺いながら検討します

Q 町制施行100周年記念事業について

100周年に当り、先人の足跡・歴史・文化などを見直し、町民の町に対する誇りや一体感を高め、次の100年に向けてメッセージを発信する必要があります。

町ではどのような事業を計画していますか。また、予算ほどの程度ですか。

A 町長 記念事業実施に向けた組織作りを検討しております。案では、実行委員会を設置し、また式典担当等の部会を組織して、基本方針を委員会で決定して頂き、細部の事業は、それぞれの部会ごとに進めていくよう考えています。

事業規模は、町の財政面

Q 等を勘案しながら検討していきます。

Q 豊門会館・西洋館の保存に対する取り組みについて

これらの施設は、国・登録文化財として第一級の建築的価値があり、町のシンボルとして次世代に引き継ぐべき財産です。

①腐食部材の交換など、修繕を早急に実施する計画はありますか。

②豊門会館と西洋館の耐震診断は済んでいますか。

③改修工事を定期的に実施していく計画はありますか。

A 町長 ①計画的な修繕については、現在のところ考え

ていませんが、建物の維持及び使用に支障をきたすような場合には、その都度修繕工事を行っています。

②平成19年8月に旧和田豊治邸及び西洋館について実施しました。結果は公共施設としての目標値を大きく下回り、建替えの検討を要す結果となっています。

③耐震診断の結果から、その必要性は十分理解していますが、今のところ改修工事の計画は考えていません。しかし、建物の保全是重要な課題ですから、専門家に意見を伺いながら検討していきます。

● 一般質問 ●



▲ 鳥獣被害の防止策として設置されている柳島の電柵



池谷 弘

Q 農林業に係る鳥獣被害防止対策は

A 被害地域の課題を明確にし、

住民主体の対策に努めていきます

鳥獣被害は町全域に亘り被害額も年々増加しています。

個人で電柵の設置をしたり猟友会で有害鳥獣捕獲をしてきましたが、町全体での取り組みが急務です。適正個体数にして被害を防止するために、今後の町の対応を伺います。

Q どのような防止計画を策定されるか伺います。

A 町長 銃器による個体数駆除の取り組みの強化や人材の育成、侵入防止柵の設置や鳥獣を引き寄せない周辺環境の整備に地域が一体となった取り組みの必要性などを盛り込み、現在策定に向け県と協議中です。

Q 鳥獣の捕獲、防護柵の設置等防止策を適切に実施するため関係機関、町民の協力をどのように得ていくか伺います。

A 町長 地域が主体となった取り組みが効果的ですので、県や関係機関の協力のもと、被害地区の住民の皆様と共に被害実態の把握、侵入経路の検証、地域の地勢状況の分析、野生獣の分布等を踏まえ、学習会の開催や地域の課題を明確にし、住民主体の対策に努めていきます。

Q 町が元気で活性化するため実施しているハイキングは健康課、商工観光課、小山町体協等があり、生涯学習課も関係

しています。行政各課と関係団体と協働し、ノウハウを生かして効率的に進めていくことへの考えを伺います。

A 町長 町は、豊かな自然を利用し、目的にあったコースを設定した事業を展開しています。

これらの事業を効率的に進めるには、行政各課間の情報の共有と関係各種団体等を含めた連携を図りながらそれぞれの目的に合う形で事業を進めていきます。

町民の皆さんが年間をおして選択できるようにすることや、さらに、協議検討によっては、新たな連携を進めていきたいと考えています。

● 一般質問 ●



▲ 町制施行100周年に開けられる文化会館のタイムカプセル



桜井 光一

Q 町制施行100周年記念イベントを
(町民体育祭の復活・町の歌の募集)

A 盛大に開催すべく関係団体と
協働で準備を進めています

来年8月1日をもって町制施行100年という、大きな節目の年を迎えるに当たり、今後はプロジェクトチームを結成し、記念イベント等検討していくとは思いますが、財政難の折、余り費用を掛けずに知恵をしぼり、手作りの記念事業を開催し、たらと考えます。

Q 私の具休案は、「町民体育祭の復活」途絶えて久しい町民体育祭を復活させ、町民が一堂に集うスポーツイベントを盛大に開催する。

A 町長 町民体育祭は過去には、豊岡グラウンドを会場として多くの参加者で

盛り上がったと聞いています。小山町を「金太郎のような元気なまち」にする一つとして、町民体育祭を復活させ、住民が一堂に集うスポーツイベントを実施したいと考えています。

来年は、町制施行100周年の記念すべき年であることから、盛大に開催すべく関係団体と協働で準備を進めています。過去の大会時とは、それぞれ状況は違っているものと思いますが、皆様の御理解、御協力を御願いたします。

Q 「町の歌の一般募集」我が町には町民憲章・町草・町の木・町の花・町の鳥は制定されてい

るが、町の歌がないのでこれを機に、老若男女に親しまれ、未来永劫歌い継がれる町の歌を一般募集したらどうか、同時に町長の100周年記念事業の全体像をお伺いします。

A 町長 この町にふさわしく、長く町民に親しまれ愛されるものであることが必要です。制作には、多くの工程と時間を要することから、まずは全体像を描き、皆様方の意見等を頂戴しながら、検討していきたいと考えます。

制作には、多くの工程と時間を要することから、まずは全体像を描き、皆様方の意見等を頂戴しながら、検討していきたいと考えます。

● 一般質問 ●



▲ 須走排水路（河川災害箇所）を視察する経済建設委員



湯山 鉄夫

Q

昨年の台風9号災害復旧の進捗状況は

農業用施設災害については、

大半の工事を発注済みです

A

昨年9月8日早朝より台風9号は全く予期せず、想定もせず不意に我が町を襲った。

「まさか台風が 我が町に」まさかの事が現実起こった。

北山系から流れ落ちる土石流、濁流は里山から市街地に流れ込み、多大にして甚大な被害を発生させた。直ちに対策本部を設置し、その対応に必死な努力により激甚災害の指定を受けつづ1年を経過した今日、災害復旧の進捗状況について

昨年9月8日早朝より台風9号は全く予期せず、想定もせず不意に我が町を襲った。

北山系から流れ落ちる土石流、濁流は里山から市街地に流れ込み、多大にして甚大な被害を発生させた。直ちに対策本部を設置し、その対応に必死な努力により激甚災害の指定を受けつづ1年を経過した今日、災害復旧の進捗状況について

は平成24年2月末の工事完了を予定しています。

河川は、橋梁の復旧の状況は

農業用地の改修状況は

● 一般質問 ●



▲地域で活躍している生土自主防災組織（9月1日の防災訓練）



渡辺悦郎

Q 被災を教訓とした防災計画の見直しは

A 台風9号災害や東日本大震災を

教訓に、現在見直し作業中です

Q 昨年の台風9号による被災から1年が、そして東日本大震災から半年が経過した。また和歌山、奈良、三重県では9月に台風による被害が発生しました。東日本大震災においては小山町をはじめ全国からの支援が行われました。この災害支援等について質問いたします。

A 町では、7月11日から15日の間に、町内の公共施設で空気中の放射線を測定しました。その結果、健康を心配する必要が全くないレベルでした。その後、県が公表している結果を確認しており基準値を超える値が出た場合には、町内の測定を行います。

Q 被災者支援として避難（一時避難を含む）受入の対応および現時点での実績は？

A 町は、避難を希望した福島県からの被災者4世帯11名を受け入れ、支援物資申請手続き、生活必需品の貸与や水道料、幼稚園授業料の減免支援等の支援をしています。

Q 小山町が実施した対応および支援実績は？

A 町は、被災地支援対策本部を設置し活動を始め、毛布150枚を県に提供しました。また、宮城県多賀城市へ長靴等の段ボール箱212箱を送り、岩手県大槌町等に職員4名、保健師2名、社協職員5名を派遣しました。その他、町内施設に義援金箱を置き、1億1千640万円を小山町社会福祉協議会で扱っております。

Q 福島原発関連の放射能事故について、町内教育施設等での測定結果と今後の対応は？

A 町では、7月11日から15日の間に、町内の公共施設で空気中の放射線を測定しました。その結果、健康を心配する必要が全くないレベルでした。その後、県が公表している結果を確認しており基準値を超える値が出た場合には、町内の測定を行います。

● 一般質問 ●



▲ 企業誘致が期待される東富士リサーチパーク



込山恒広

Q 小山町の企業誘致とその優遇策は

A 町内での取り引きを促し、

経済循環の活性化を図ります

Q 日本の企業は、生き残りをかけて海外へその活動拠点を移し、国内産業の空洞化が目立つようになってきました。小山町においても例外ではなく、大手企業の生産規模の縮小等により、その下請け企業への影響や、地域の雇用への影響が危惧されるところであります。

そこで、魅力的な「小山町地域産業立地支援事業」として、小山町独自の戦略的な優遇策による企業誘致、新規起業、合わせて既存企業活性化施策について町長のお考えを伺います。

A 町長 町内企業の情報をもとに、積極的に企

業誘致を推進していきま

す。具体的には「小山町地域産業立地促進事業」として、一平方メートル以上の用地を取得した企業に用地取得費の一部を補助し、かつ一定以上の新規雇用に対して補助を行い、企業の進出を促すとともに、雇用の拡大と産業の活性化を図りたいと考えています。

Q 県庁の企業立地推進課での調査資料「平成23年度各市町の優遇策」によりますと、未整備市町として、伊東市、吉田町、小山町があがっております。富士市では、都市活力再生本部を立ち上げたと聞いております。今後の小山町の特徴ある思い切った

優遇活性化策の具体的計画について伺います。

A 町長 現在県が進めるファ

— 私の望み —

No.1



本間日和 (足柄小6年)

私は小山町が大好きです。自然がいっぱいなので、とてもいいと思います。

私は足柄地区に住んでいますが、小さい頃は成美地区に住んでいました。幼稚園は菅沼の駿河幼稚園に通っていました。

小さな頃から夏になると通っていた金時公園の町民プールは今も大好きです。

小学生になってからは町立図書館を毎週利用しています。夏休みには、「図書館ファンクラブ」に入って、図書館のカウンターにも立ちました。私は本が大好きなので、もっと新しい本を増やして欲しいです。

あったらいいなと思う物は、足柄の水辺公園に遊具が欲しいと思いました。

学校の校舎にも、文化会館にも雨もりの跡がたくさんあります。すぐに直せないでしょうか。

今よりも町のあちこちでホテルやカブトムシ・クワガタなどの生き物がたくさんいる小山町であって欲しいです。そして、町の人口が少なくなってきているので、みんながこれからも住みたい、住んでみたいと思えるような町づくりをして欲しいと思います。そうしたら、私たちが進学などで一度小山町を離れることがあっても、きっとこの町に戻ってこようと思いますよ。

議員視察研修
— 町内事業所4か所を視察 —

8月19日に、全議員で町内視察研修を行いました。
今回は町内の事業所4か所に伺い、会社概要はもちろんです、事業内容の説明を受け、施設見学も細かくさせて頂いていただきました。
視察先は、東海カーボン株式会社研修所、OTTO東富士研修所、丸善食品工業株式会社小山工場、養護老人ホーム「平成の杜」の4事業所です。
東海カーボンでは、世界レベルの先端技術の高度な研究に驚かされました。
OTTOでは、最新のトイレスシステムバス等も見学し、技術革新の速さに、これまた驚かされました。
丸善食品では、各ラインごとに製造される飲料水の

製造過程を実際に見学し、衛生管理に細心の配慮をしている点に感心しました。
養護老人ホーム平成の杜では、充実した施設・設備に驚かされました。また、介護現場の一端に触れることができました。
今回の研修は、おおいに見聞を広げることができた良い研修となりました。
(記 高畑博行)



東海カーボン株で説明を受ける議員

皆さんの声を募集しています!

町づくりや子どもたちの教育のことなど、どんなことでも結構です。あなたの住所、氏名、電話番号を明記してメール、ファックスやお手紙で気軽にお寄せください。
ご応募いただいた内容は、広報委員会で選考し、ご本人に承認していただいたうえで「議会だより」に、掲載することとします。

会議録の閲覧ができます

議会だよりは、紙面の都合により、議員や町長等の発言を要約して掲載しています。詳しく知りたい方は、図書館で閲覧できますので、ご覧ください。
なお、9月定例会の会議録は、11月下旬から閲覧できます。議会だよりは、町のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

小山町のホームページ <http://www.fuji-oyama.jp>

議会へのメールアドレス gikai@fuji-oyama.jp

編集後記

春の町選で13人の議員が決まり、このうち新議員は8人という構成になりました。議会だよりの編集委員会のメンバーも新たに選任され、ベテラン2人と新人3人の構成となりました。委員会は、議会事務局の強力なサポートを受けて活動しています。
初任事は、8月でした。2回目の今月号は、決算審査が主要な記事になりました。町民のみならずお預かりした大切な税金が無駄なく有効に使われたのか慎重に審議された様子を載せました。

この議会だよりは、町民と議会を結ぶ大切な絆です。私たち編集担当者は、議会の活動をできるだけ分かりやすくお伝えできるように心がけていきます。
町民各位のご意見やご要望をお待ちしています。
(記 湯山宏一)

- 〈編集委員〉
- 委員長 藤嶋 邦彦
 - 副委員長 高畑 博行
 - 委員 湯山 宏一
 - 委員 渡辺 悦郎
 - 委員 湯山 欽夫

